

株式会社寺谷組 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標 (SDGs) に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2024年12月10日

株式会社寺谷組
代表取締役 平尾 義之

◆経営方針

「誠実で、信頼に応える経営・社員一致団結のもと、地域社会への貢献」

◆目指す姿

今後も地域のインフラを支える企業として、長年の経験により培った技術を生かし、これからも持続可能な地域社会の創造に貢献できる企業を目指します。

SDGsの達成に向けた取り組み

地域インフラへの貢献

地域の安心、安全な暮らしに向けてインフラ、環境整備に努めます。

<具体的な取り組み>

災害復旧工事によるインフラ整備／地元の除雪活動／建設工事の環境負荷の低減や建設廃棄物の削減／環境目標の設定

— 関連ゴール —



多様な人材活用

差別、ハラスメントのない組織、風通しの良い組織で多様な価値観のある社員の笑顔あふれる会社を目指します。

<具体的な取り組み>

社内規程の見直し、再雇用制度の制定／シニア人材・障がい者・Uターン者の積極的な雇用推進／地元人材や外国人労働者の活用／多様性意識の啓発、リーダーシップ育成

— 関連ゴール —



働きやすい社内環境整備

労働時間を適正に管理し、一体感のある経営を目指して、社員の声を積極的に収集し、社員一人一人が働きやすいと感じられる組織を目指します。

<具体的な取り組み>

社内方針・規程の見直し／柔軟な勤務体制、フレックス制度の導入／超過労働時間の削減／社内の声の把握

— 関連ゴール —



環境問題の認識・環境配慮型サービス提供

持続可能な社会の実現のため、環境意識の更なる向上を図りながら今後SDGsに貢献する製品や環境配慮型サービスの提供を推進します。

<具体的な取り組み>

教育・研修・環境保全活動の定期的な実施／持続可能性を確認できる原材料 (FSC認証等) の使用／環境に配慮した製品開発・提供・設計基準の設定／J-クレジット

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

